

難関突破し新たな出発

厳しくも励まされ難関突破—
総合資格学院を運営する総合資格（岸隆司社長）は9日、大阪市北区の新阪急ホテルで



1、2級建築士・宅建合格祝賀会

総合資格関西本部

「関西本部2011年度1、2級建築士・宅建合格祝賀会」を開いた。写真。合格者や来賓、学院関係者ら約250人が出席し、建設産業界への新たな出発を祝福し合った。

開会冒頭、石川琢也関西本部長が「難しい試験を突破されたことをスタッフ一同うれしく誇りに思っている。当学院受講生の全国合格占有率は、一級建築士で4369人のうち2259人、つまり2人に1人以上の53・1%、二級建築士では97・1%、宅建主任者で92・5%を達成した。関西地区では新たに福知山校が1月8日に開校するなど、皆さんに続く受講生が一層

2級建築士



石川本部長

この後、梅田校一級建築士講師の辻裕樹氏の発声で乾杯し、懇親に移った。

増えている。今後とも関西地区の発展、充実に努めていきたい」と祝福と決意の言葉を述べた。講師を代表し、指導講師の齋木秀雄氏が「目標に向かってあきらめない姿勢、夢を叶える誇りを持ち続けてほしい」と励ました。来賓紹介後、代表して佐野吉彦大阪府建築士事務所協会長（安井建築設計事務所社長）は「資格を取ることは、国内だけでなく、国際的な活躍の場も広がる一面、法的な責任、職業人として大きな義務を伴う」と自覚を促した。

石村雄彦梅田校校長が一級建築士合格者代表の古澤洋一氏（梅田校）、二級建築士合格者代表の田中美沙さん（なんば校）、宅建主任者合格者代表の下町宗一氏（梅田校）に修了証と記念品を贈呈した。古澤氏は「一級建築士になることは長年の夢だった。内装工事会社に勤務しているもので、勉強の時間がなく、何度も諦めかかった」と振り返り、田中さんも「講師、スタッフの方々には気さくに相談に乗って頂き、大変ありがたかった」と感謝した。下町氏は「講師陣のご指導のもと、必ず合格するとの信念でストイックに学んできた」と語り、喜びを表した。